

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/006078

International filing date: 30 March 2005 (30.03.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2004-099412
Filing date: 30 March 2004 (30.03.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 26 May 2005 (26.05.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2 0 0 4 年 3 月 3 0 日

出 願 番 号
Application Number: 特 願 2 0 0 4 - 0 9 9 4 1 2

パリ条約による外国への出願
に用いる優先権の主張の基礎
となる出願の国コードと出願
番号
J P 2 0 0 4 - 0 9 9 4 1 2
The country code and number
of your priority application,
to be used for filing abroad
under the Paris Convention, is

出 願 人
Applicant(s): 大王製紙株式会社

2 0 0 5 年 5 月 1 1 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川



| | |
|-----------|--|
| 【書類名】 | 特許願 |
| 【整理番号】 | EP3082-01 |
| 【提出日】 | 平成16年 3月30日 |
| 【あて先】 | 特許庁長官殿 |
| 【国際特許分類】 | A61F 13/00 |
| 【発明者】 | |
| 【住所又は居所】 | 栃木県塩谷郡喜連川町大字鷲宿字菅ノ沢4776-4 エリエールペーパーテック株式会社内 |
| 【氏名】 | 吉田 英聡 |
| 【特許出願人】 | |
| 【識別番号】 | 390029148 |
| 【氏名又は名称】 | 大王製紙株式会社 |
| 【代理人】 | |
| 【識別番号】 | 100090527 |
| 【弁理士】 | |
| 【氏名又は名称】 | 舘野 千恵子 |
| 【電話番号】 | 03-5731-9081 |
| 【手数料の表示】 | |
| 【予納台帳番号】 | 011084 |
| 【納付金額】 | 21,000円 |
| 【提出物件の目録】 | |
| 【物件名】 | 特許請求の範囲 1 |
| 【物件名】 | 明細書 1 |
| 【物件名】 | 図面 1 |
| 【物件名】 | 要約書 1 |

【書類名】 特許請求の範囲

【請求項 1】

身体に装着して排泄物を吸収保持する展開型紙おむつにおいて、
バックシート、第 1 吸収体、第 2 吸収体、トップシートをこの順に備え、
前記第 1 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられるとともに、前記第 2 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる、
前記第 1 吸収体と前記第 2 吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、
前記股下から前記背側に向かって前記第 2 吸収体が前記第 1 吸収体から離間することによって該第 1 吸収体と前記第 2 吸収体との間に排泄物を保持するポケットが形成され、
該ポケットにて前記防漏シートは前記第 2 吸収体に接するように配設され、
前記トップシートは前記防漏シートを被うように前記ポケットの形状にならって設けられることを特徴とする展開型紙おむつ。

【請求項 2】

身体に装着して排泄物を吸収保持する展開型紙おむつにおいて、
バックシート、第 1 吸収体、第 2 吸収体、トップシートをこの順に備え、
前記第 1 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられるとともに、前記第 2 吸収体は、装着したときに使用者の股下から腹側にかけて備えられる、
前記第 1 吸収体と前記第 2 吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、
前記股下から前記腹側に向かって前記第 2 吸収体が前記第 1 吸収体から離間することによって該第 1 吸収体と前記第 2 吸収体との間に排泄物を保持するポケットが形成され、
該ポケットにて前記防漏シートは前記第 2 吸収体に接するように配設され、
前記トップシートは前記防漏シートを被うように前記ポケットの形状にならって設けられることを特徴とする展開型紙おむつ。

【請求項 3】

身体に装着して排泄物を吸収保持する展開型紙おむつにおいて、
バックシート、第 1 吸収体、第 2 吸収体、トップシートをこの順に備え、
前記第 1 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられる、
前記第 2 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる背側第 2 吸収体と、装着したときに使用者の股下から腹側にかけて備えられる腹側第 2 吸収体とを有し、
前記第 1 吸収体と前記背側第 2 吸収体との間、および前記第 1 吸収体と前記腹側第 2 吸収体との間にそれぞれ液体を透過しない防漏シートを備え、
前記股下から前記背側に向かって前記背側第 2 吸収体が前記第 1 吸収体から離間するとともに、前記股下から前記腹側に向かって前記腹側第 2 吸収体が前記第 1 吸収体から離間することによって該第 1 吸収体と前記背側第 2 吸収体との間、および前記第 1 吸収体と前記腹側第 2 吸収体との間にそれぞれ排泄物を保持するポケットが形成され、
該ポケットにて前記防漏シートは前記背側第 2 吸収体または前記腹側第 2 吸収体に接するように配設され、
前記トップシートは前記防漏シートを被うように前記ポケットの形状にならって設けられることを特徴とする展開型紙おむつ。

【請求項 4】

前記ポケットの開口上端に沿って前記第 2 吸収体の前記トップシート上に便収容ギャザーを備えることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の展開型紙おむつ。

【請求項 5】

身体に装着して排泄物を吸収保持する展開型紙おむつにおいて、
バックシート、第 1 吸収体、第 2 吸収体、第 3 吸収体、トップシートをこの順に備え、
前記第 1 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられる

るとともに、前記第 2 吸収体および第 3 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられ、

前記第 2 吸収体と前記第 3 吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、

前記股下から前記背側に向かって前記第 2 吸収体が前記第 1 吸収体から離間することによって該第 1 吸収体と前記第 2 吸収体との間に排泄物を保持するポケットが形成され、

前記トップシートは前記ポケットの形状にならって設けられることを特徴とする展開型紙おむつ。

【請求項 6】

身体に装着して排泄物を吸収保持する展開型紙おむつにおいて、

バックシート、第 1 吸収体、第 2 吸収体、第 3 吸収体、トップシートをこの順に備え、

前記第 1 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられ、
るとともに、前記第 2 吸収体および第 3 吸収体は、装着したときに使用者の股下から腹側にかけて備えられ、

前記第 2 吸収体と前記第 3 吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、

前記股下から前記腹側に向かって前記第 2 吸収体が前記第 1 吸収体から離間することによって該第 1 吸収体と前記第 2 吸収体との間に排泄物を保持するポケットが形成され、

前記トップシートは前記ポケットの形状にならって設けられることを特徴とする展開型紙おむつ。

【請求項 7】

身体に装着して排泄物を吸収保持する展開型紙おむつにおいて、

バックシート、第 1 吸収体、第 2 吸収体、第 3 吸収体、トップシートをこの順に備え、

前記第 1 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられ

、
前記第 2 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる背側第 2 吸収体と、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる腹側第 2 吸収体とを有し、

前記第 3 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる背側第 3 吸収体と、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる腹側第 3 吸収体とを有し、

前記背側第 2 吸収体と前記背側第 3 吸収体との間、および前記腹側第 2 吸収体と前記腹側第 3 吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、

前記股下から前記背側に向かって前記背側第 2 吸収体が前記第 1 吸収体から離間するとともに、前記股下から前記腹側に向かって前記腹側第 2 吸収体が前記第 1 吸収体から離間する

ことによって該第 1 吸収体と前記背側第 2 吸収体との間、および前記第 1 吸収体と前記腹側第 2 吸収体との間にそれぞれ排泄物を保持するポケットが形成され、

前記トップシートは前記ポケットの形状にならって設けられることを特徴とする展開型紙おむつ。

【請求項 8】

前記ポケットの開口に沿って前記第 2 吸収体または第 3 吸収体の前記トップシート上に便収容ギャザーを備えることを特徴とする請求項 5 ないし 7 のいずれかに記載の展開型紙おむつ。

【請求項 9】

前記第 1 吸収体に沿って脚回り立体ギャザーを備えることを特徴とする請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の展開型紙おむつ。

【請求項 10】

前記第 1 吸収体の幅方向両側よりも幅方向中央において目付量が少ないことを特徴とする請求項 1 ないし 9 のいずれかに記載の展開型紙おむつ。

【書類名】 明細書

【発明の名称】 展開型紙おむつ

【技術分野】

【0001】

本発明は、身体に装着して排泄物を吸収保持する展開型紙おむつに関する。

【背景技術】

【0002】

従来の展開型紙おむつにおいて、使用者の臀部が位置する部分に大便を保持する保持部を設けたものとして、吸収体に凹部を形成してその凹部の開口をトップシートで平面的に被覆するものや、凹部の形状に沿ってトップシートを設けたものがある。

また、吸収体の凹部の開口を平面的に被ったトップシートの開口と重なる部分に孔部を設け、その孔部から吸収体の凹部に大便を入れて保持するものもある（例えば特許文献1）。

しかしこのような展開型紙おむつでは、吸収体に形成された凹部の形状を確保して大便を保持できるようにしなければならず、凹部の内壁を固化したり、表面シートに代わる丈夫な液透過性シートで被覆したりしなければならないという問題があった。

そこで、図14に示すように、バックシート1、第1吸収体（下層吸収体）2、第2吸収体（上層吸収体）3、トップシート4とをこの順に備え、第2吸収体3が臀部当接部位において前後方向を二分する前側部3aと後側部3bとで構成されるとともに、前後方向において前側部3aの後端と後側部3bの先端とが一定寸法離間し、トップシート4が前側部3aの後端と後側部3bの先端とにおいて第1吸収体2に向かって折曲し、かつその折曲部分が第1吸収体2と第2吸収体3との間に折り込まれる大便を保持するポケット5が形成された展開型紙おむつが開示されている（例えば特許文献2）。

【特許文献1】 実開平6-5614号公報

【特許文献2】 特許第3130438号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

しかし、展開型紙おむつを着用する使用者の中には寝たきりとなっていて腰部などに褥瘡がある場合がある。褥瘡は身体的、精神的苦痛を伴うものであり、この原因として考えられるのは、寝たきり状態であることによる血流阻害、新陳代謝の低下、自浄機能・免疫力の低下、体位交換時のズレによる物理的摩擦などがあるが、特に排泄物に含まれる水分が皮膚を汚染してかぶれさせることが症状を進行させる大きな原因となっている。

図6に示した構造の展開型紙おむつにおいても、上記原因を回避することは困難である。なぜなら、ポケット5に保持された排泄物は、第2吸収体3に浸透し、トップシート4を経て使用者の臀部や腰部の皮膚に接触し汚染してしまい、褥瘡を促進を防止することができないからである。

そこで、この発明の目的は、使用者が快適に装着できる展開型紙おむつを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0004】

このため、請求項1に記載の発明は、身体に装着して排泄物を吸収保持する展開型紙おむつにおいて、

バックシート、第1吸収体、第2吸収体、トップシートをこの順に備え、

前記第1吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられるとともに、前記第2吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる、

前記第1吸収体と前記第2吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、

前記股下から前記背側に向かって前記第2吸収体が前記第1吸収体から離間することによって該第1吸収体と前記第2吸収体との間に排泄物を保持するポケットが形成され、

該ポケットにて前記防漏シートは前記第２吸収体に接するように配設され、
前記トップシートは前記防漏シートを被うように前記ポケットの形状にならって設けられることを特徴とする。

【０００５】

請求項２に記載の発明は、身体に装着して排泄物を吸収保持する展開型紙おむつにおいて、

バックシート、第１吸収体、第２吸収体、トップシートをこの順に備え、

前記第１吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられるとともに、前記第２吸収体は、装着したときに使用者の股下から腹側にかけて備えられ

、
前記第１吸収体と前記第２吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、

前記股下から前記腹側に向かって前記第２吸収体が前記第１吸収体から離間することによって該第１吸収体と前記第２吸収体との間に排泄物を保持するポケットが形成され、

該ポケットにて前記防漏シートは前記第２吸収体に接するように配設され、

前記トップシートは前記防漏シートを被うように前記ポケットの形状にならって設けられることを特徴とする。

【０００６】

請求項３に記載の発明は、身体に装着して排泄物を吸収保持する展開型紙おむつにおいて、

バックシート、第１吸収体、第２吸収体、トップシートをこの順に備え、

前記第１吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられ

、
前記第２吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる背側第２吸収体と、装着したときに使用者の股下から腹側にかけて備えられる腹側第２吸収体とを有し、

前記第１吸収体と前記背側第２吸収体との間、および前記第１吸収体と前記腹側第２吸収体との間にそれぞれ液体を透過しない防漏シートを備え、

前記股下から前記背側に向かって前記背側第２吸収体が前記第１吸収体から離間するとともに、前記股下から前記腹側に向かって前記腹側第２吸収体が前記第１吸収体から離間することによって該第１吸収体と前記背側第２吸収体との間、および前記第１吸収体と前記腹側第２吸収体との間にそれぞれ排泄物を保持するポケットが形成され、

該ポケットにて前記防漏シートは前記背側第２吸収体または前記腹側第２吸収体に接するように配設され、

前記トップシートは前記防漏シートを被うように前記ポケットの形状にならって設けられることを特徴とする。

【０００７】

請求項４に記載の発明は、請求項１ないし３のいずれかに記載の展開型紙おむつにおいて、前記ポケットの開口上端に沿って前記第２吸収体の前記トップシート上に便収容ギャザーを備えることを特徴とする。

【０００８】

請求項５に記載の発明は、身体に装着して排泄物を吸収保持する展開型紙おむつにおいて、

バックシート、第１吸収体、第２吸収体、第３吸収体、トップシートをこの順に備え、

前記第１吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられるとともに、前記第２吸収体および第３吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられ、

前記第２吸収体と前記第３吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、

前記股下から前記背側に向かって前記第２吸収体が前記第１吸収体から離間することによって該第１吸収体と前記第２吸収体との間に排泄物を保持するポケットが形成され、

前記トップシートは前記ポケットの形状にならって設けられることを特徴とする。

【０００９】

請求項６に記載の発明は、身体に装着して排泄物を吸収保持する展開型紙おむつにおいて、

バックシート、第１吸収体、第２吸収体、第３吸収体、トップシートをこの順に備え、前記第１吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられるとともに、前記第２吸収体および第３吸収体は、装着したときに使用者の股下から腹側にかけて備えられ、

前記第２吸収体と前記第３吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、

前記股下から前記腹側に向かって前記第２吸収体が前記第１吸収体から離間することによって該第１吸収体と前記第２吸収体との間に排泄物を保持するポケットが形成され、

前記トップシートは前記ポケットの形状にならって設けられることを特徴とする。

【００１０】

請求項７に記載の発明は、身体に装着して排泄物を吸収保持する展開型紙おむつにおいて、

バックシート、第１吸収体、第２吸収体、第３吸収体、トップシートをこの順に備え、前記第１吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられ、

前記第２吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる背側第２吸収体と、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる腹側第２吸収体とを有し、

前記第３吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる背側第３吸収体と、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる腹側第３吸収体とを有し、

前記背側第２吸収体と前記背側第３吸収体との間、および前記腹側第２吸収体と前記腹側第３吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、

前記股下から前記背側に向かって前記背側第２吸収体が前記第１吸収体から離間するとともに、前記股下から前記腹側に向かって前記腹側第２吸収体が前記第１吸収体から離間することによって該第１吸収体と前記背側第２吸収体との間、および前記第１吸収体と前記腹側第２吸収体との間にそれぞれ排泄物を保持するポケットが形成され、

前記トップシートは前記ポケットの形状にならって設けられることを特徴とする。

【００１１】

請求項８に記載の発明は、請求項５ないし７のいずれかに記載の展開型紙おむつにおいて、前記ポケットの開口に沿って前記第２吸収体または第３吸収体の前記トップシート上に便収容ギャザーを備えることを特徴とする。

【００１２】

請求項９に記載の発明は、請求項１ないし８のいずれかに記載の展開型紙おむつにおいて、前記第１吸収体に沿って脚回り立体ギャザーを備えることを特徴とする。

【００１３】

請求項１０に記載の発明は、請求項１ないし９のいずれかに記載の展開型紙おむつにおいて、前記第１吸収体の幅方向両側よりも幅方向中央において目付量が少ないことを特徴とする。

【発明の効果】

【００１４】

請求項１の発明によれば、バックシート、第１吸収体、第２吸収体、トップシートをこの順に備え、第１吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられるとともに、第２吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられ、第１吸収体と第２吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、股下から背側に向かって第２吸収体が第１吸収体から離間することによってその第１吸収体と第２吸収体との間に排泄物を保持するポケットが形成され、そのポケットにて防漏シートは第２吸

収体に接するように配設され、トップシートは防漏シートを被うようにポケットの形状にならって設けられるので、排泄物は第1吸収体と第2吸収体との間のポケットに保持されて紙おむつの使用面であるトップシート全体に広がることなく清潔である。また、展開型紙おむつ交換時に、介護者が使用者の排泄物を拭き取る面積が減り介護者の作業が低減される。加えて、ポケットに保持された排泄物の水分は、第1吸収体に吸収保持されるので、排泄物の水分がポケットの開口から逆流して漏れ出すことがない。

さらに、第1吸収体と第2吸収体との間に第2吸収体に接するように防漏シートを備えるので、ポケットに保持された排泄物の水分が第2吸収体に吸収されてトップシートから使用面側に染み出すことがなく、使用者が褥瘡などを有するときにもその患部を汚染することがなく清潔である。加えて、染み出した排泄物によって患部を悪化させることがない。したがって、使用者が快適に装着できる展開型紙おむつを提供することができる。

【0015】

請求項2の発明によれば、バックシート、第1吸収体、第2吸収体、トップシートをこの順に備え、第1吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられるとともに、第2吸収体は、装着したときに使用者の股下から腹側にかけて備えられ、第1吸収体と第2吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、股下から腹側に向かって第2吸収体が第1吸収体から離間することによってその第1吸収体と第2吸収体との間に排泄物を保持するポケットが形成され、そのポケットにて防漏シートは第2吸収体に接するように配設され、トップシートは防漏シートを被うようにポケットの形状にならって設けられるので、排泄物は第1吸収体と第2吸収体との間のポケットに保持されて紙おむつの使用面であるトップシート全体に広がることなく清潔である。また、展開型紙おむつ交換時に、介護者が使用者の排泄物を拭き取る面積が減り介護者の作業が低減される。加えて、ポケットに保持された排泄物の水分は、第1吸収体に吸収保持されるので、排泄物の水分がポケットの開口から逆流して漏れ出すことがない。

さらに、第1吸収体と第2吸収体との間に第2吸収体に接するように防漏シートを備えるので、ポケットに保持された排泄物の水分が第2吸収体に吸収されてトップシートから使用面側に染み出すことがなく、使用者が褥瘡などを有するときにもその患部を汚染することがなく清潔である。加えて、染み出した排泄物によって患部を悪化させることがない。したがって、使用者が快適に装着できる展開型紙おむつを提供することができる。

【0016】

請求項3の発明によれば、バックシート、第1吸収体、第2吸収体、トップシートをこの順に備え、

前記第1吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられ

、
前記第2吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる背側第2吸収体と、装着したときに使用者の股下から腹側にかけて備えられる腹側第2吸収体とを有し、第1吸収体と背側第2吸収体との間、および第1吸収体と腹側第2吸収体との間にそれぞれ液体を透過しない防漏シートを備え、股下から背側に向かって背側第2吸収体が第1吸収体から離間するとともに、股下から腹側に向かって腹側第2吸収体が第1吸収体から離間することによってその第1吸収体と背側第2吸収体との間、および第1吸収体と腹側第2吸収体との間にそれぞれ排泄物を保持するポケットが形成され、そのポケットにて防漏シートは背側第2吸収体または腹側第2吸収体に接するように配設され、トップシートは防漏シートを被うようにポケットの形状にならって設けられるので、排泄物は第1吸収体と背側第2吸収体との間に形成されるポケット、および第1吸収体と腹側第2吸収体との間に形成されるポケットにそれぞれ保持されて紙おむつの使用面であるトップシート全体に広がることなく清潔である。また、展開型紙おむつ交換時に、介護者が使用者の排泄物を拭き取る面積が減り介護者の作業が低減される。加えて、ポケットに保持された排泄物の水分は、第1吸収体に吸収保持されるので、排泄物の水分がポケットの開口から逆流して漏れ出すことがない。

さらに、第1吸収体と背側第2吸収体との間に背側第2吸収体に接するように防漏シ

トを備え、および第1吸収体と腹側第2吸収体との間に腹側第2吸収体に接するように防漏シートを備えるので、ポケットに保持された排泄物の水分が背側第2吸収体または腹側第2吸収体に吸収されてトップシートから使用面側に染み出すことがなく、使用者が褥瘡などを有するときにもその患部を汚染することがなく清潔である。加えて、染み出した排泄物によって患部を悪化させることがない。したがって、使用者が快適に装着できる展開型紙おむつを提供することができる。

【0017】

請求項4の発明によれば、ポケットの開口上端に沿って第2吸収体上のトップシート上に便収容ギャザーを備えるので、便収容ギャザーに備える弾性部材によって第2吸収体を湾曲させてポケットの開口を容易に形成することができ、ポケットを有効に活用することができる。したがって、ポケットに排泄物を容易に保持することができ、使用者の皮膚を排泄物で汚染することがなく清潔である。よって、使用者が快適に装着できる展開型紙おむつを提供することができる。

【0018】

請求項5の発明によれば、バックシート、第1吸収体、第2吸収体、第3吸収体、トップシートをこの順に備え、第1吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられるとともに、第2吸収体および第3吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられ、第2吸収体と第3吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、股下から背側に向かって第2吸収体が第1吸収体から離間することによってその第1吸収体と第2吸収体との間に排泄物を保持するポケットが形成され、トップシートはポケットの形状にならって設けられるので、排泄物は第1吸収体と第2吸収体との間のポケットに保持されて紙おむつの使用面であるトップシート全体に広がることなく清潔である。また、展開型紙おむつ交換時に、介護者が使用者の排泄物を拭き取る面積が減り介護者の作業が低減される。加えて、ポケットに保持された排泄物の水分は、第1吸収体に加えて第2吸収体にも吸収保持されるので、いっそう排泄物の水分がポケットの開口から逆流して漏れ出すことがない。

さらに、第2吸収体と第3吸収体との間に防漏シートを備えるので、ポケットに保持された排泄物の水分が第3吸収体に吸収されてトップシートから使用面側に染み出すことがなく、使用者が褥瘡などを有するときにもその患部を汚染することがなく清潔である。加えて、染み出した排泄物によって患部を悪化させることがない。したがって、使用者がいっそう快適に装着できる展開型紙おむつを提供することができる。

【0019】

請求項6の発明によれば、バックシート、第1吸収体、第2吸収体、第3吸収体、トップシートをこの順に備え、第1吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられるとともに、第2吸収体および第3吸収体は、装着したときに使用者の股下から腹側にかけて備えられ、第2吸収体と第3吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、股下から腹側に向かって第2吸収体が第1吸収体から離間することによってその第1吸収体と第2吸収体との間に排泄物を保持するポケットが形成され、トップシートはポケットの形状にならって設けられるので、排泄物は第1吸収体と第2吸収体との間のポケットに保持されて紙おむつの使用面であるトップシート全体に広がることなく清潔である。また、展開型紙おむつ交換時に、介護者が使用者の排泄物を拭き取る面積が減り介護者の作業が低減される。加えて、ポケットに保持された排泄物の水分は、第1吸収体に加えて第2吸収体にも吸収保持されるので、いっそう排泄物の水分がポケットの開口から逆流して漏れ出すことがない。

さらに、第2吸収体と第3吸収体との間に防漏シートを備えるので、ポケットに保持された排泄物の水分が第3吸収体に吸収されてトップシートから使用面側に染み出すことがなく、使用者が褥瘡などを有するときにもその患部を汚染することがなく清潔である。加えて、染み出した排泄物によって患部を悪化させることがない。したがって、使用者がいっそう快適に装着できる展開型紙おむつを提供することができる。

【0020】

請求項 7 の発明によれば、バックシート、第 1 吸収体、第 2 吸収体、第 3 吸収体、トップシートをこの順に備え、第 1 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下を経て腹側にかけて備えられ、第 2 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる背側第 2 吸収体と、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる腹側第 2 吸収体とを有し、第 3 吸収体は、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる背側第 3 吸収体と、装着したときに使用者の背側から股下にかけて備えられる腹側第 3 吸収体とを有し、背側第 2 吸収体と背側第 3 吸収体との間、および腹側第 2 吸収体と腹側第 3 吸収体との間に液体を透過しない防漏シートを備え、股下から背側に向かって背側第 2 吸収体が第 1 吸収体から離間するとともに、股下から腹側に向かって腹側第 2 吸収体が第 1 吸収体から離間することによってその第 1 吸収体と背側第 2 吸収体との間、および第 1 吸収体と腹側第 2 吸収体との間にそれぞれ排泄物を保持するポケットが形成され、トップシートはポケットの形状にならって設けられるので、排泄物は第 1 吸収体と背側第 2 吸収体との間に形成されるポケットまたは第 1 吸収体と腹側第 2 吸収体との間に形成されるポケットに保持されて紙おむつの使用面であるトップシート全体に広がることなく清潔である。また、展開型紙おむつ交換時に、介護者が使用者の排泄物を拭き取る面積が減り介護者の作業が低減される。加えて、ポケットに保持された排泄物の水分は、第 1 吸収体に加えて第 2 吸収体にも吸収保持されるので、いっそう排泄物の水分がポケットの開口から逆流して漏れ出すことがない。

さらに、背側第 2 吸収体と背側第 3 吸収体との間、および腹側第 2 吸収体と腹側第 3 吸収体に防漏シートを備えるので、ポケットに保持された排泄物の水分が背側第 3 吸収体または腹側第 3 吸収体に吸収されてトップシートから使用面側に染み出すことがなく、使用者が褥瘡などを有するときにもその患部を汚染することがなく清潔である。加えて、染み出した排泄物によって患部を悪化させることがない。したがって、使用者がいっそう快適に装着できる展開型紙おむつを提供することができる。

【0021】

請求項 8 の発明によれば、ポケットの開口に沿って第 2 吸収体または第 3 吸収体上のトップシート上に便収容ギャザーを備えるので、便収容ギャザーに備える弾性部材によって第 2 吸収体または別の第 2 吸収体を湾曲させてポケットの開口を容易に形成することができ、ポケットを有効に活用することができる。したがって、ポケットに排泄物を容易に保持することができ、使用者の皮膚を排泄物で汚染することがなく清潔である。よって、使用者が快適に装着できる展開型紙おむつを提供することができる。

【0022】

請求項 9 の発明によれば、第 1 吸収体に沿って脚回り立体ギャザーを備えるので、脚回りからの横モレを防止し、使用者が快適に装着できる展開型紙おむつを提供することができる。

【0023】

請求項 10 の発明によれば、第 1 吸収体の幅方向両側よりも幅方向中央において目付量が少ないので、例えば第 1 吸収体がバルブで構成されている場合、第 1 吸収体の幅方向中央に窪みを容易につくることができ、排泄物を中央に誘導し、ポケットへと誘導しやすくなり、使用面を清潔に保つことができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0024】

(第 1 の実施の形態)

以下、図面を参照しつつ、この発明の第 1 の実施の形態につき説明する。

図 1 は、この発明の展開型紙おむつの展開図である。展開型紙おむつは、矩形の長辺のほぼ中央部分にそれぞれ切り欠き 40 を設けたバックシート 12 と、そのバックシート 12 の幅方向 a 中央に長手方向 b に沿って第 1 吸収体（下層吸収体）14 を備え、その第 1 吸収体 14 の上に第 2 吸収体（上層吸収体）15、メッシュ状の孔を複数有する不織布やフィルムなど液透過性のトップシート 11 をこの順に備える。

図 2, 3 に示すように、第 1 吸収体 14 は、装着したときに使用者の背側 36 から股下

３７を経て腹側３８にかけて備えられるとともに、第２吸収体１５は、装着したときに使用者の背側３６から股下３７にかけて備えられる。第１吸収体１４と第２吸収体１５との間に液体を透過しない防漏シート３２を備え、股下３７から背側３６に向かって第２吸収体１５の中央部が第１吸収体１４から離間することによってその第１吸収体１４と第２吸収体１５との間に排泄物を保持するポケットＰＯが形成される。そして、そのポケットＰＯにて防漏シート３２は第２吸収体１５に接するように配設され、トップシート１１は防漏シート３２を被うようにポケットＰＯの形状にならって設けられる。

このとき、第２吸収体１５は開口Ｏ以外の周縁部をホットメルト接着剤などによって第１吸収体１４と接着されている。

なお、トップシート１１は展開型紙おむつを使用者に装着する際の使用面となるものである。

また、第１吸収体１４と第２吸収体１５は、綿状バルブに高分子吸収体ポリマーを散在させてなる。ここで、第１吸収体１４、第２吸収体１５は、それぞれ表面を吸収用のティッシュペーパーで覆われている。

【００２５】

背側３６の幅方向ａ両側には、一対のサイドフラップ２２Ａ，２２Ｂを備え、その一対のサイドフラップ２２Ａ，２２Ｂの幅方向ａ外側には止着部２４を備えたサイドパネル２３Ａ，２３Ｂをそれぞれ設ける。

この止着部２４は、パネル基材２５の自由端部に一体に形成され、先端をツマミ部とし、その止着部２４の固定端側にはオス材のメカニカルファスナーなどからなる係合部を設ける。この係合部は裏面をパネル基材２５表面に接着して固定する。

また、腹側３８の幅方向ａ両側には、一対のサイドフラップ２１Ａ，２１Ｂを備える。

【００２６】

さらに、ポケットＰＯの開口上端３３に沿って、先端が開口上端３３より腹側３８に延出するように第２吸収体１５上のトップシート１１上に便収容ギャザー３１を貼着して備える。

この便収容ギャザー３１は、不織布などで形成されたギャザーシート２９を長手方向ｂに折り返してその内側に幅方向ａに沿って弾性部材２７を３本備える。

なお、便収容ギャザー３１は、ポケットＰＯの開口上端３３に沿って、先端が開口上端３３と揃うように備えてもよいし、ポケットＰＯの開口上端３３に沿って、先端が開口上端３３より背側３６に位置するように備えてもよい。

加えて、第１吸収体１４の外縁に長手方向ｂに沿って脚回り立体ギャザー３０を備える。

この脚回り立体ギャザー３０は、不織布などで形成されたギャザーシート２６の一端を幅方向ａに折り返してその内側に長手方向ｂに沿って弾性部材２７を３本備える。

なお、この図では、脚回り立体ギャザー３０、便収容ギャザー３１に弾性部材２７をそれぞれ３本ずつ備えるがこれに限定されるものではない。また脚回り立体ギャザー３０は、展開型紙おむつが使用者に適切に装着された時に使用者の脚回りにフィットして横モレを防ぐためのものである。

ギャザーシート２６の他端はバックシート１２に形成されたサイドフラップ２１Ａ，２１Ｂ，２２Ａ，２２Ｂの形状に合わせて裁断され、バックシート１２と貼り合わされる。

【００２７】

なお、第１吸収体１４がバルブからなり、幅方向ａ両側よりも幅方向ａ中央においてバルブの目付量を少なくしてもよい。

このようにすると、第１吸収体１４の幅方向ａ中央が両側に比べてくぼみ、排泄物が中央に集まり、これをポケットＰＯへと容易に誘導することができ、使用面を清潔に保つことができる。

【００２８】

このように構成された展開型紙おむつを使用するときは、仰向けになっている使用者の臀部を背側３６の使用面であるトップシート１１上に載せる。

そして、股下３７を使用者の股間部にあてがい、腹側３８を使用者の腹部に載せるように展開型紙おむつを折り曲げて、背側部３６にある止着部２４のオス材のメカニカルファスナーを腹側部３８のバックシート１２に係合させて止着し、展開型紙おむつを使用者に装着する。すると、第２吸収体１５が便収容ギャザー３１によって使用者の体型に追従して起立しポケットＰＯが形成される。

このとき、便収容ギャザー３１を使用者の仙骨部付近に密着するように装着するとポケットＰＯの開口Ｏが使用者の排泄物を的確に捕らえてポケットＰＯに容易に保持することができる。また、第１吸収体１４の幅方向ａ両側よりも幅方向ａ中央においてパルプの目付量を少なくすると、第１吸収体１４の幅方向ａ中央が両側に比べてくぼみ、排泄物が中央に集まり、これをポケットＰＯへと容易に誘導することができる。

【００２９】

なお、上述の実施の形態では、トップシート１１は防漏シート３２を被うようにポケットＰＯの形状にならって第１吸収体１４、第２吸収体１５の表面に設けられているが、この発明はこれに限定されるものではなく、図４に示すように、第１吸収体１４、第２吸収体１５をそれぞれ別々にトップシート１１ａ、１１ｂで被うようにしてもよい。すなわち、バックシート１２上に第１吸収体１４を備え、その第１吸収体１４上をトップシート１１ａで覆う。その上に別のトップシート１１ｂで包まれた第２吸収体１５を載置する。なお、第２吸収体１５の第１吸収体１４側には防漏シート３２を備え、この表面からトップシート１１ｂで被うものとする。そして、第２吸収体１５の第１吸収体１４と反対側のトップシート１１ｂ上の開口上端３３に便収容ギャザー３１を設ける。

このように展開型紙おむつを形成すると、トップシート１１をポケットＰＯの形状にならって設ける必要がなく、第１吸収体１４、第２吸収体１５をそれぞれトップシート１１ａ、１１ｂで被うことにより、製造工程を単純化することができる。

【００３０】

（第２の実施の形態）

次にこの発明の第２の実施の形態について図５を用いて説明する。この実施の形態では、第１の実施の形態と比べて、第２吸収体１５を備える位置と、この第２吸収体１５と第１吸収体とによって形成されるポケットの向きが異なる。それ以外の構成は、第１の実施の形態と同様であるので説明を簡略化する。

この実施の形態の展開型紙おむつは、バックシート１２、第１吸収体１４、第２吸収体１５、トップシート１１をこの順に備え、第１吸収体１４は、装着したときに使用者の背側３６から股下３７を経て腹側３８にかけて備えられるとともに、第２吸収体１５は、装着したときに使用者の股下３７から腹側３８にかけて備えられ、第１吸収体１４と第２吸収体１５との間に液体を透過しない防漏シート３２を備え、股下３７から腹側３８に向かって第２吸収体１５が第１吸収体１４から離間することによってその第１吸収体１４と第２吸収体１５との間に排泄物を保持するポケットＰＯが形成され、そのポケットＰＯにて防漏シート３２は第２吸収体１５に接するように配設され、トップシート１１は防漏シート３２を被うようにポケットＰＯの形状にならって設けられる。

【００３１】

さらに、ポケットＰＯの開口上端３３に沿って第２吸収体１５上のトップシート１１上に便収容ギャザー３１を貼着して備える。

この便収容ギャザー３１は、不織布などで形成されたギャザーシート２９を長手方向ｂに折り返してその内側に幅方向ａに沿って弾性部材２７を３本備える。

なお、この図では、便収容ギャザー３１に弾性部材２７をそれぞれ３本ずつ備えるがこれに限定されるものではない。

【００３２】

（第３の実施の形態）

次にこの発明の第３の実施の形態について図６、７を用いて説明する。この実施の形態では、第１および第２の実施の形態と比べて、第２吸収体を背側第２吸収体、腹側第２吸収体として２つ備え、ポケットＰＯの形状が異なる。それ以外の構成は、第１および第２

の実施の形態と同様であるので説明を簡略化する。

この実施の形態の展開型紙おむつは、バックシート 12、第 1 吸収体 14、背側第 2 吸収体（第 2 吸収体）15a および腹側第 2 吸収体（第 2 吸収体）15b、トップシート 11 をこの順に備え、第 1 吸収体 14 は、装着したときに使用者の背側 36 から股下 37 を経て腹側 38 にかけて備えられ、背側第 2 吸収体 15a は、装着したときに使用者の背側 36 から股下 37 にかけて備えられ、腹側第 2 吸収体 15b は、装着したときに使用者の股下 37 から腹側 38 にかけて備えられ、第 1 吸収体 14 と背側第 2 吸収体 15a との間、および第 1 吸収体 14 と腹側第 2 吸収体 15b との間にそれぞれ液体を透過しない防漏シート 32a、32b を備え、股下 37 から背側 36 に向かって背側第 2 吸収体 15a が第 1 吸収体 14 から離間するとともに、股下 37 から腹側 38 に向かって腹側第 2 吸収体 15b が第 1 吸収体 14 から離間することによってその第 1 吸収体 14 と背側第 2 吸収体 15a との間、および第 1 吸収体 14 と腹側第 2 吸収体 15b との間にそれぞれ排泄物を保持するポケット P O が形成され、そのポケット P O にて防漏シート 32a は背側第 2 吸収体 15a に、防漏シート 32b は腹側第 2 吸収体 15b にそれぞれ接するように配設され、トップシート 11 は防漏シート 32a、32b を被うようにポケット P O の形状にならって設けられる。

【0033】

さらに、ポケット P O の開口上端 33 に沿って背側第 2 吸収体 15a、腹側第 2 吸収体 15b 上のトップシート 11 上に便収容ギャザー 31 をそれぞれ貼着して備える。

この便収容ギャザー 31 は、不織布などで形成されたギャザーシート 29 を長手方向 b に折り返してその内側に幅方向 a に沿って弾性部材 27 を 3 本備える。

なお、この図では、便収容ギャザー 31 に弾性部材 27 をそれぞれ 3 本ずつ備えるがこれに限定されるものではない。

【0034】

（第 4 の実施の形態）

次にこの発明の第 4 の実施の形態について図 8、9、10 を用いて説明する。この実施の形態では、第 1 の実施の形態と比べて、第 2 吸収体 15 に防漏シート 32 を介して第 3 吸収体 16 を備える点が異なる。それ以外の構成は、第 1 の実施の形態と同様であるので説明を簡略化する。

この実施の形態の展開型紙おむつは、バックシート 12、第 1 吸収体（下層吸収体）14、第 2 吸収体（中層吸収体）15、第 3 吸収体（上層吸収体）16、トップシート 11 をこの順に備え、第 1 吸収体 14 は、装着したときに使用者の背側 36 から股下 37 を経て腹側 38 にかけて備えられるとともに、第 2 吸収体 15 および第 3 吸収体 16 は、装着したときに使用者の背側 36 から股下 37 にかけて備えられる。そして、第 2 吸収体 15 と第 3 吸収体 16 との間に液体を透過しない防漏シート 32 を備え、股下 37 から背側 36 に向かって第 2 吸収体 15 が第 1 吸収体 14 から離間することによってその第 1 吸収体 14 と第 2 吸収体 15 との間に排泄物を保持するポケット P O が形成される。なお、トップシート 11 はポケット P O の形状にならって設けられる。このとき、第 2 吸収体 15 は開口 O 以外の周縁部をホットメルト接着剤などによって第 1 吸収体 14 と接着されている。

そして、ポケット P O の開口 O に沿って第 3 吸収体 16 のトップシート 11 上に便収容ギャザー 31 を備え、第 1 吸収体 14 に沿って脚回り立体ギャザー 30 を備える。

なお、この図では、足回り立体ギャザー 30、便収容ギャザー 31 に弾性部材 27 をそれぞれ 3 本ずつ備えるがこれに限定されるものではない。

【0035】

このように構成された展開型紙おむつを使用するときは、仰向けになっている使用者の臀部を背側 36 の使用面であるトップシート 11 上に載せる。

そして、股下 37 を使用者の股間部にあてがい、腹側 38 を使用者の腹部に載せるように展開型紙おむつを折り曲げて、背側部 36 にある止着部 24 のオス材のメカニカルファスナーを腹側部 38 のバックシート 12 に係合させて止着し、展開型紙おむつを使用者に

装着する。すると、第2吸収体15及び第3吸収体16が便収容ギャザー31によって使用者の体型に追従して起立し、ポケットP Oが形成される。

このとき、便収容ギャザー31を使用者の仙骨部付近に密着するように装着するとポケットP Oの開口Oが使用者の排泄物を的確に捕らえてポケットP Oに容易に保持することができる。また、第1吸収体14の幅方向a両側よりも幅方向a中央においてパルプの目付量を少なくすると、第1吸収体14の幅方向a中央が両側に比べてくぼみ、排泄物が中央に集まり、これをポケットP Oへと容易に誘導することができる。

【0036】

なお、この実施の形態では、トップシート11は防漏シート32を被うようにポケットP Oの形状にならって第1吸収体14、第2吸収体15、第3吸収体16の表面に設けられているが、この発明はこれに限定されるものではなく、図11に示すように、第1吸収体14と、第2吸収体15及び第3吸収体16をそれぞれ別々にトップシート11a、11bで被うようにしてもよい。

すなわち、バックシート12上に第1吸収体14を備え、その第1吸収体14上をトップシート11aで覆う。その上に別のトップシート11bで包まれた第2吸収体15及び第3吸収体16を載置する。なお、第2吸収体15と第3吸収体16との間には防漏シート32を備える。そして、第3吸収体16を被うトップシート11b上の開口上端33に便収容ギャザー31を設ける。

このように展開型紙おむつを形成すると、トップシート11をポケットP Oの形状にならって設ける必要がなく、第1吸収体14、第2吸収体15及び第3吸収体16をそれぞれトップシート11a、11bで被うことにより、製造工程を単純化することができる。

【0037】

また、第1吸収体14がパルプからなり、幅方向a両側よりも幅方向a中央においてパルプの目付量を少なくしてもよい。このようにすると、第1吸収体14の幅方向a中央が両側に比べてくぼみ、排泄物が中央に集まり、これをポケットP Oへと容易に誘導することができる。使用面を清潔に保つことができる。

【0038】

(第5の実施の形態)

次にこの発明の第5の実施の形態について図12を用いて説明する。この実施の形態では、第4の実施の形態と比べて、第2吸収体15を備える位置と、この第2吸収体15と第1吸収体14とによって形成されるポケットP Oの向きが異なる。それ以外の構成は、第4の実施の形態と同様であるので説明を簡略化する。

この実施の形態の展開型紙おむつは、バックシート12、第1吸収体(下層吸収体)14、第2吸収体(中層吸収体)15、第3吸収体(上層吸収体)16、トップシート11をこの順に備え、第1吸収体14は、装着したときに使用者の背側36から股下37を経て腹側38にかけて備えられるとともに、第2吸収体15および第3吸収体16は、装着したときに使用者の股下37から腹側38にかけて備えられる。そして、第2吸収体15と第3吸収体16との間に液体を透過しない防漏シート32を備え、股下37から腹側38に向かって第2吸収体15が第1吸収体14から離間することによってその第1吸収体14と第2吸収体15との間に排泄物を保持するポケットP Oが形成される。なお、トップシート11はポケットP Oの形状にならって設けられる。

【0039】

さらに、ポケットP Oの開口上端33に沿って第3吸収体16のトップシート11上に便収容ギャザー31を貼着して備える。

この便収容ギャザー31は、不織布などで形成されたギャザーシート29を長手方向bに折り返してその内側に幅方向aに沿って弾性部材27を3本備える。

なお、この図では、便収容ギャザー31に弾性部材27をそれぞれ3本ずつ備えるがこれに限定されるものではない。

【0040】

(第6の実施の形態)

次にこの発明の第6の実施の形態について図13を用いて説明する。この実施の形態では、第4および第5の実施の形態と比べて、第2吸収体を背側第2吸収体及び腹側第2吸収体として、また、第3吸収体を背側第3吸収体及び腹側第3吸収体としてそれぞれ2つつつ備えるとともに、ポケットP Oの形状が異なる。それ以外の構成は、第4および第5の実施の形態と同様であるので説明を簡略化する。

この実施の形態の展開型紙おむつは、バックシート12、第1吸収体（下層吸収体）14、第2吸収体である背側第2吸収体（中層吸収体）15aならびにその背側第2吸収体15aと同一形状の第3吸収体である背側第3吸収体（上層吸収体）16a、および第2吸収体である腹側第2吸収体（中層吸収体）15bならびにその腹側第2吸収体15bと同一形状の第3吸収体である腹側第3吸収体（上層吸収体）16b、トップシート11をこの順に備える。

【0041】

第1吸収体14は、装着したときに使用者の背側36から股下37を経て腹側38にかけて備えられ、背側第2吸収体15aならびに背側第3吸収体16aは、装着したときに使用者の背側36から股下37にかけて備えられ、腹側第2吸収体15bならびに腹側第3吸収体16bは、装着したときに使用者の股下37から腹側38にかけて備えられ、背側第2吸収体15aと背側第3吸収体16aとの間、および腹側第2吸収体15bと腹側第3吸収体16bとの間にそれぞれ液体を透過しない防漏シート32a、32bを備える。

そして、股下37から背側36に向かって背側第2吸収体15aが第1吸収体14から離間するとともに、股下37から腹側38に向かって腹側第2吸収体15bが第1吸収体14から離間することによってその第1吸収体14と背側第2吸収体15aとの間、および第1吸収体14と腹側第2吸収体15bとの間にそれぞれ排泄物を保持するポケットP Oが形成され、トップシート11はポケットP Oの形状にならって設けられる。

【0042】

さらに、ポケットP Oの開口上端33に沿って背側第2吸収体15a、腹側第2吸収体15b上のトップシート11上に便収容ギャザー31をそれぞれ貼着して備える。

この便収容ギャザー31は、不織布などで形成されたギャザーシート29を長手方向bに折り返してその内側に幅方向aに沿って弾性部材27を3本備える。

なお、この図では、便収容ギャザー31に弾性部材27をそれぞれ3本ずつ備えるがこれに限定されるものではない。

【0043】

本発明において使用されるトップシート11は、液透過性の不織布、織布、多孔性プラスチックフィルム等であり、その構成繊維は、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ナイロン等の単繊維、またはポリエステル、ポリプロピレン、ポリエチレン、ナイロン等の2成分以上からなる複合繊維等であり、特に、ポリエステル／ポリエステル、ポリエステル／ポリエチレン、ポリプロピレン／ポリエチレンの複合繊維が強度の面から好ましいが、特に制限をうけるものではない。また、液透過性の不織布を用いて構成してもよい。

【0044】

本発明において使用されるバックシート12およびパネル基材25は、たとえば、PE（ポリエチレン）等の液不透過性フィルム、液体不透過性フィルムと不織布または織布を貼り合わせた素材等である。液不透過性フィルムを使用した場合、ムレを防止するために、液体を透過させない程度の多数の微孔を設けたポリエチレン製フィルムや、熱可塑性樹脂にフィラーを加えて延伸した透湿性のあるフィルム、あるいはこれらのフィルムの外側に不織布、織布を貼り合わせた複合シートを用いると、吸収パッド内の余分な水分が気体の状態で吸収パッド外に放出されるため、ムレやカブレが起こりにくくなり、透湿性や肌触り等を快適なものとすることができる。なお、バックシート12は不織布などの液透過性の素材で構成してもよい。

【0045】

本発明において使用される第1吸収体14、第2吸収体15、15a、15b、第3吸収体16、16a、16bは、綿状パルプ、高吸収性ポリマー（以下、「SAP」という。）親水性シート等からなり、特に制限を受けるものではない。また、本発明において使用される吸収体は、従来の展開型紙おむつやその他の吸収性物品において通常使用される公知の吸収性材料から作られている。

【0046】

すなわち、綿状パルプ、レーヨン等の吸収性繊維とSAPを混合した単層もしくは多層のマット、あるいは、吸収性繊維からなるマットの層間にSAPを均一に配置したもの等を親水性シートでくるんで形成したものを使用することができる。

【0047】

綿状パルプとしては、化学パルプシートもしくは、機械パルプシートを粉砕機で解繊することにより得られるものが用いられる。パルプ原料としては、針葉樹に限らず、広葉樹、わら、竹およびケナフも適用される。また、古紙パルプを使用しても良い。この綿状パルプの使用量は、目的とする吸収体により、例えば、単独で用いるか、複数積層して用いるか、他の吸収材を併用するかなどにより異なるが、一般的には、 $50 \sim 600 \text{ g/m}^2$ にされる。

【0048】

SAPとしては、デンプン系、セルロース系、合成ポリマー系が挙げられる。すなわち、デンプン-アクリル酸（塩）グラフト共重合体、デンプン-アクリル酸エチルグラフト共重合体のケン化物、デンプン-メタクル酸メチルグラフト共重合体のケン化物、デンプン-アクリロニトリルグラフト共重合体のケン化物、デンプン-アクリルアミドグラフト共重合体のケン化物、アクリル酸（塩）重合体、アクリル酸で架橋されたポリエチレンオキシド、ナトリウムカルボキシメチルセルロースの架橋物、ポリビニールアルコール-無水マレイン酸反応物の架橋物などが使用可能である。

【0049】

第1吸収体14、第2吸収体15、15a、15b、第3吸収体16、16a、16bの圧縮方法としては、周面が平滑なロールなどにより、吸収体の密度がその全体にわたり実質的に均等になるように連続する面状に圧縮してもよいし、周面が凹凸状であるロールなどにより、吸収体の密度が部分的に異なり、尿や体液を縦方向及び斜め方向に導く模様配列のエンボスとなるように圧縮してもよい。エンボスの場合、圧縮部、非圧縮部は、連続、非連続のいずれであってもよい。

【0050】

本発明で使用されるギャザーシート26、ギャザーシート29は、撥水加工した不織布または織布、ポリエチレン等の液体不透過性フィルム、ならびにその液体不透過性フィルムと不織布または織布を貼り合わせた素材等が使用できる。液体不透過性のフィルムを使用する場合、ムレを防止するために液体分子を透過させない程度の多数の微孔を設けたポリエチレン製フィルムや、熱可塑性樹脂にフィラーを加えて延伸した透湿性のあるフィルムが好ましい。

【0051】

不織布、織布を使用する場合、その構成繊維は、PP（ポリプロピレン）、PE、ポリエステル、PET、ナイロン等の一般的に知られている組成を用いるが、そのうち強度の高いPETまたはPPが好適である。構成は単層または2層、若しくは3層以上の多層のうち、強度が高い2層以上が好適である。種類は、エアスルー、ポイントボンド、レジンボンド、スパンボンド、SMS、SMMSなどが用いられるが、そのうちより強度の高いスパンボンドが好適である。目付量は、最適なコシが得られる $50 \sim 70 \text{ g/m}^2$ がより好ましい。

【0052】

立体ギャザー30、便収容ギャザー31に使用される弾性部材27は、天然、合成ゴム、ウレタンなどの糸状、ひも状、ネット状、平型形状の通常の男性用吸収パッド、通常の吸収性物品に使用されている伸縮弾性体を使用することができる。伸縮弾性体は伸長状態

で配置され、ホットメルト、澱粉系またはCMC（カルボキシメチルセルロース）などの水溶性の糊又は、流動性の高い接着剤、あるいは熱や超音波等による溶着により、撥水性素材に接着固定される。

【図面の簡単な説明】

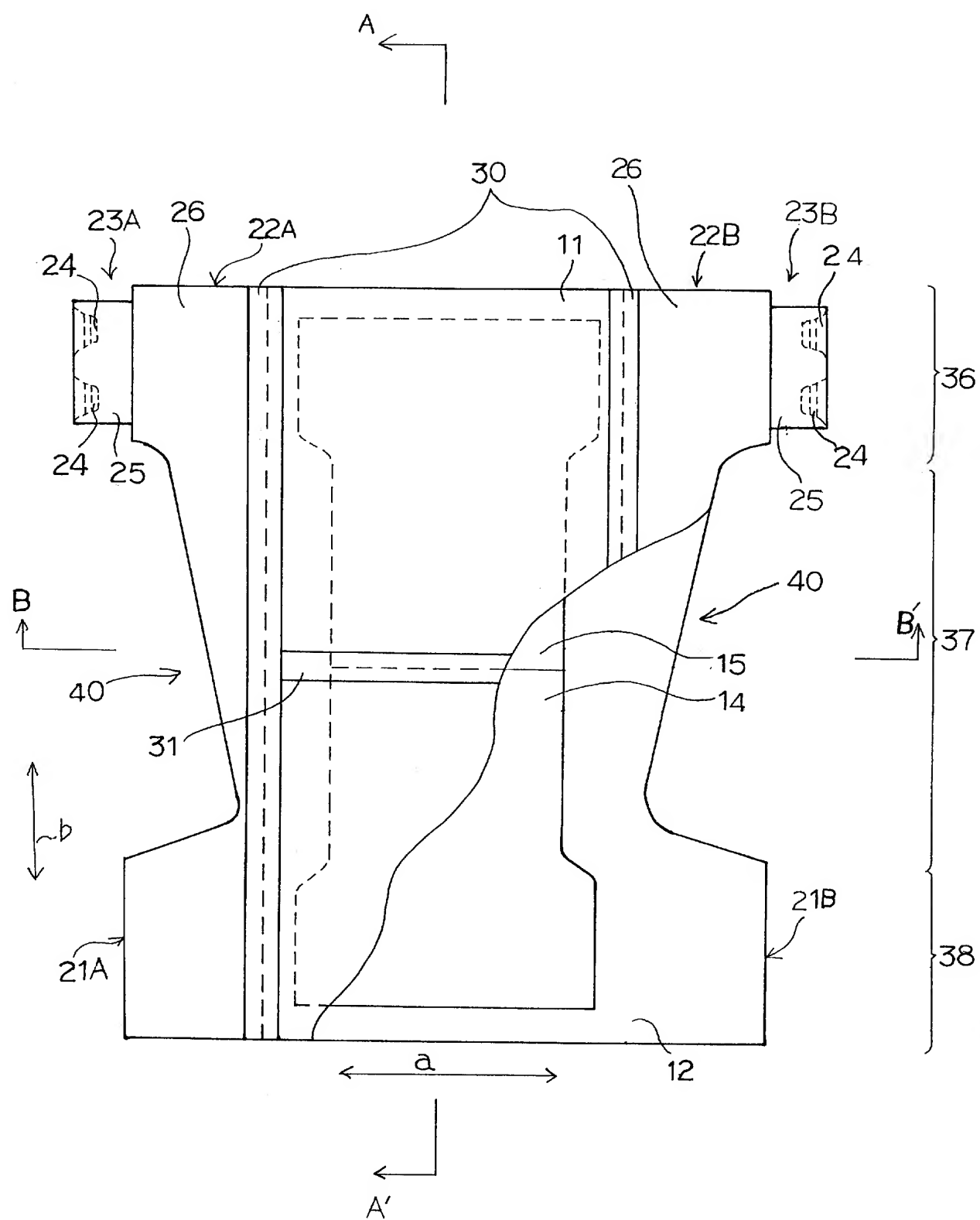
【0053】

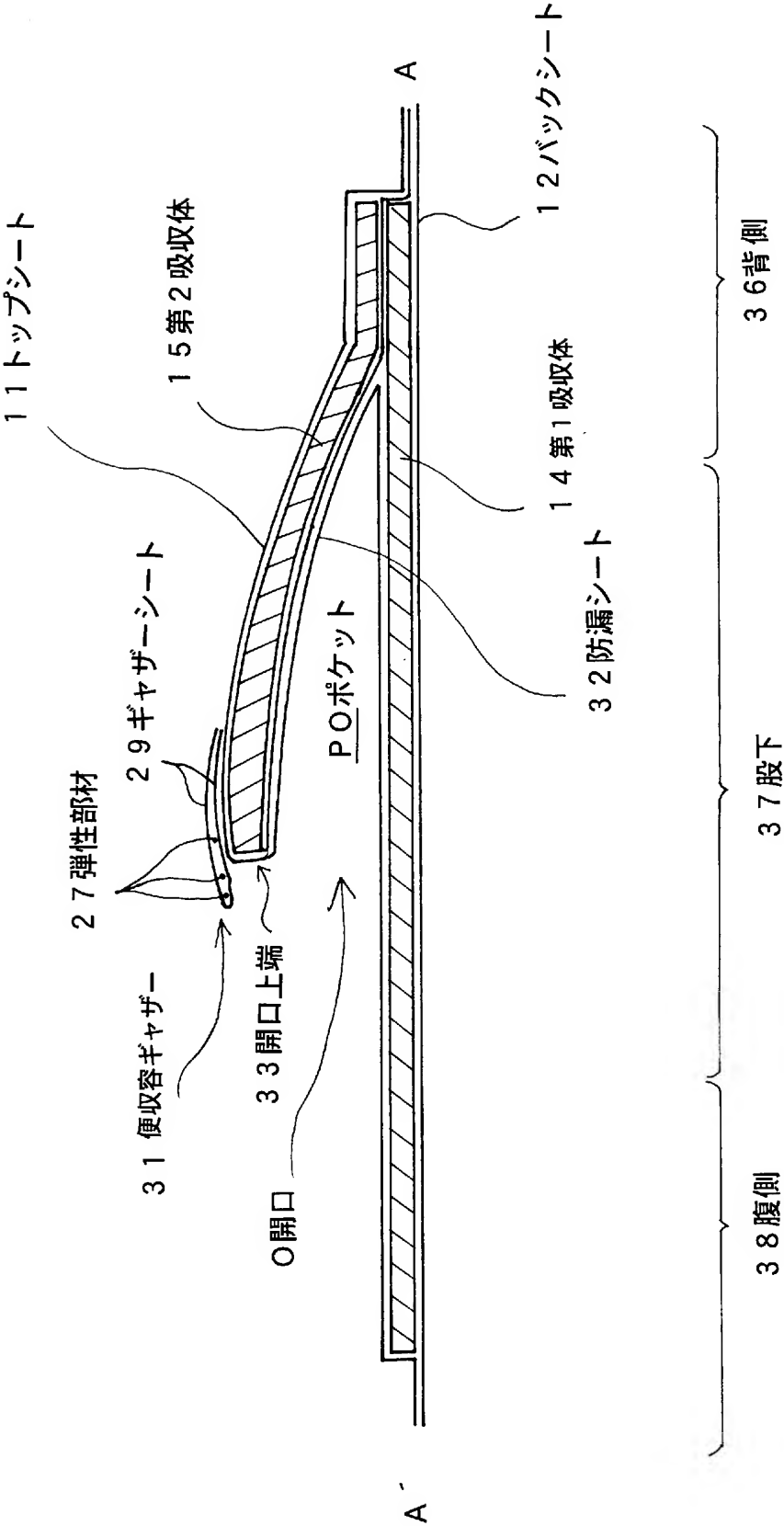
- 【図1】 この発明の第1の実施の形態の展開型紙おむつの平面図である。
【図2】 図1の展開型紙おむつのA-A'断面図である。
【図3】 図1の展開型紙おむつのB-B'断面図である。
【図4】 第1の実施の形態の展開型紙おむつの変形例を示すA-A'断面図である。
【図5】 この発明の第2の実施の形態の展開型紙おむつのA-A'断面図である。
【図6】 この発明の第3の実施の形態の展開型紙おむつの平面図である。
【図7】 図7の展開型紙おむつのA-A'断面図である。
【図8】 この発明の第4の実施の形態の展開型紙おむつの平面図である。
【図9】 図8の展開型紙おむつのA-A'断面図である。
【図10】 図8の展開型紙おむつのB-B'断面図である。
【図11】 第4の実施の形態の展開型紙おむつの変形例を示すA-A'断面図である。
。
【図12】 この発明の第5の実施の形態の展開型紙おむつのA-A'断面図である。
【図13】 この発明の第6の実施の形態の展開型紙おむつのA-A'断面図である。
【図14】 従来の展開型紙おむつの断面図である。

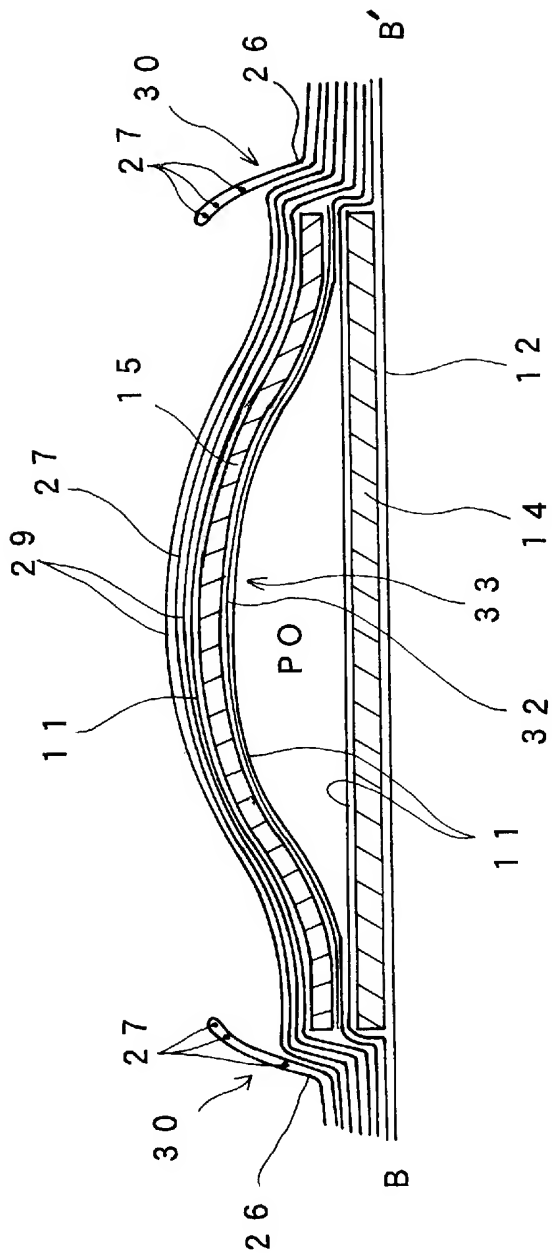
【符号の説明】

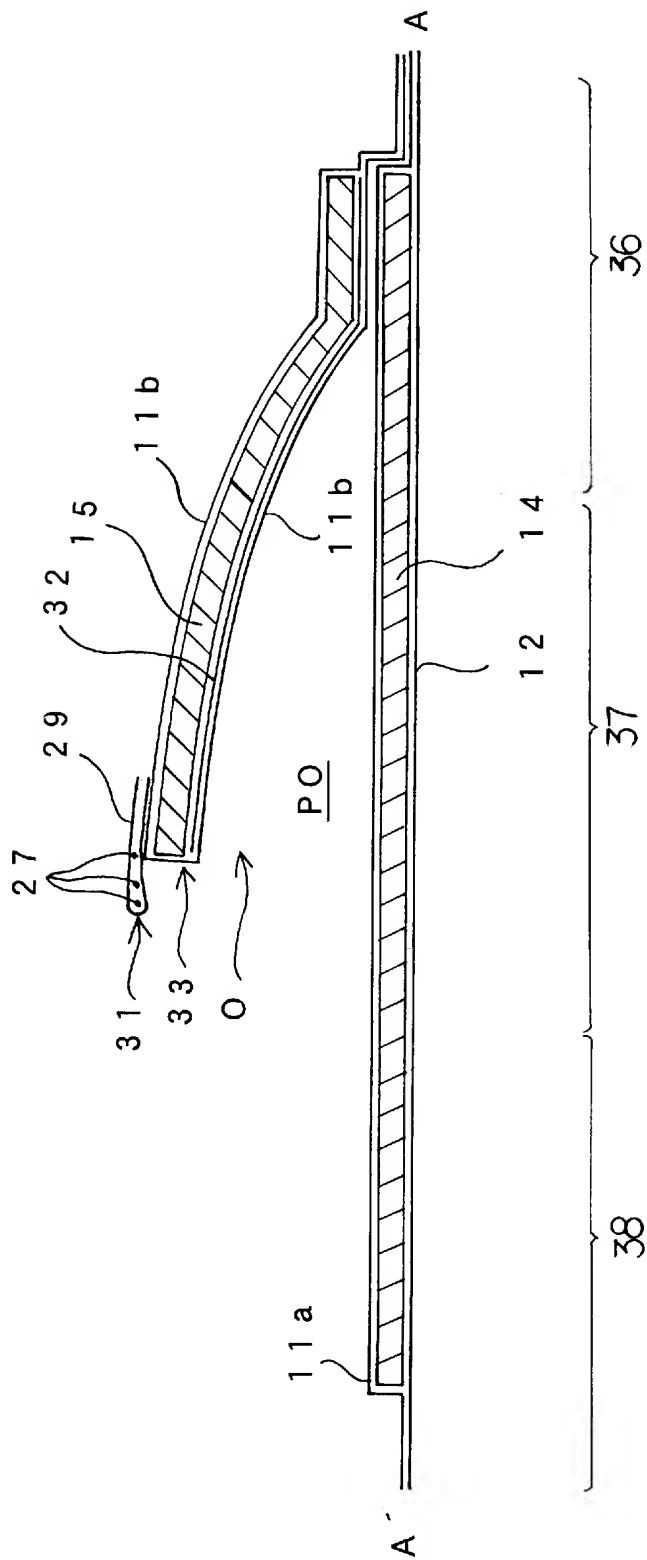
【0054】

- 11, 11a, 11b トップシート
12 バックシート
14 第1吸収体
15 第2吸収体
15a 背側第2吸収体（第2吸収体）
15b 腹側第2吸収体（第2吸収体）
16 第3吸収体
16a 背側第3吸収体（第3吸収体）
16b 腹側第3吸収体（第3吸収体）
21A, 21B, 22A, 22B サイドフラップ
23A, 23B サイドパネル
24 止着部
25 パネル基材
26, 29 ギャザーシート
27 弾性部材
30 脚回り立体ギャザー
31 便収容ギャザー
32, 32a, 32b 防漏シート
33 開口上端
36 背側
37 股下
38 腹側
40 切り欠き
O 開口
PO ポケット

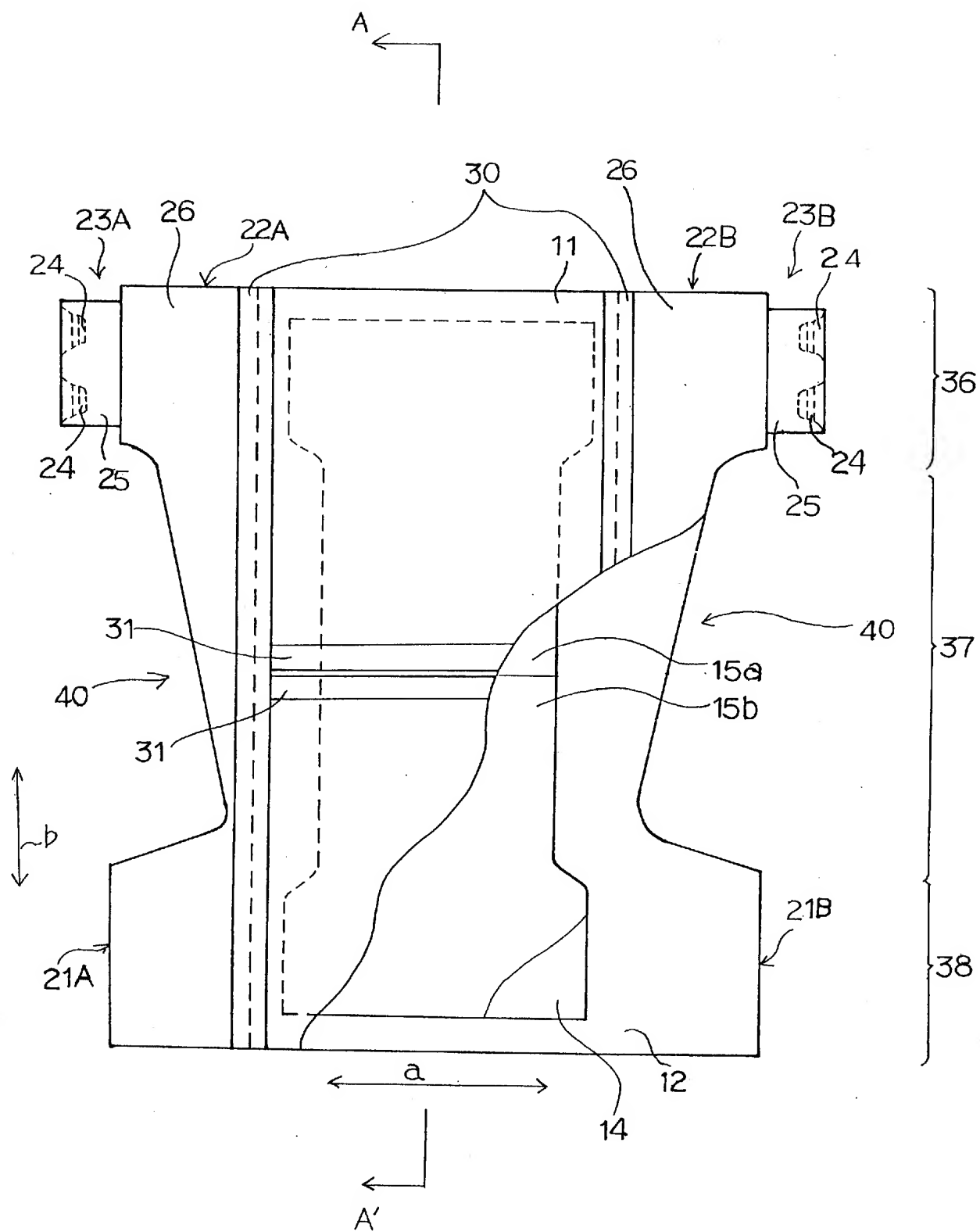


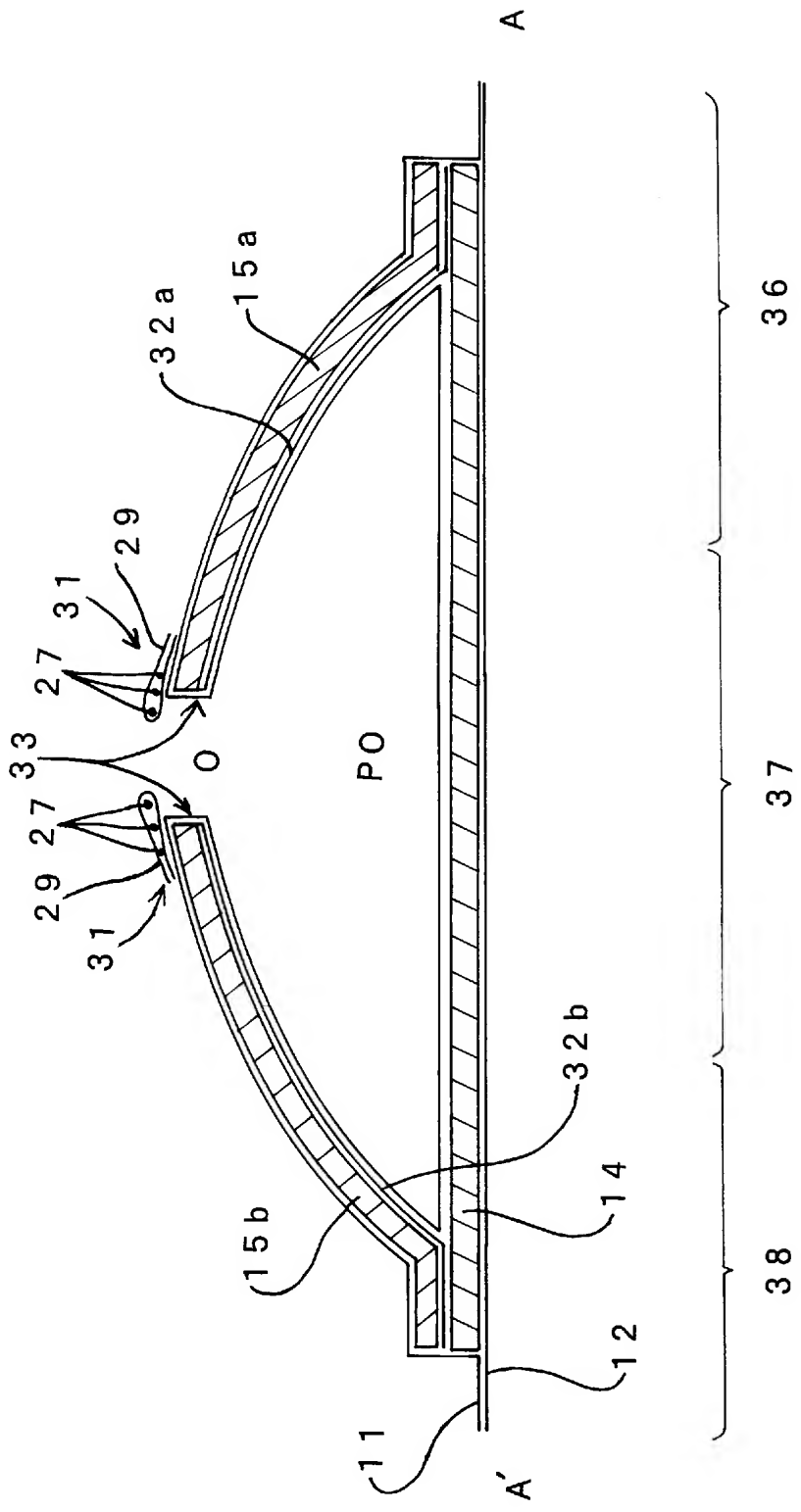


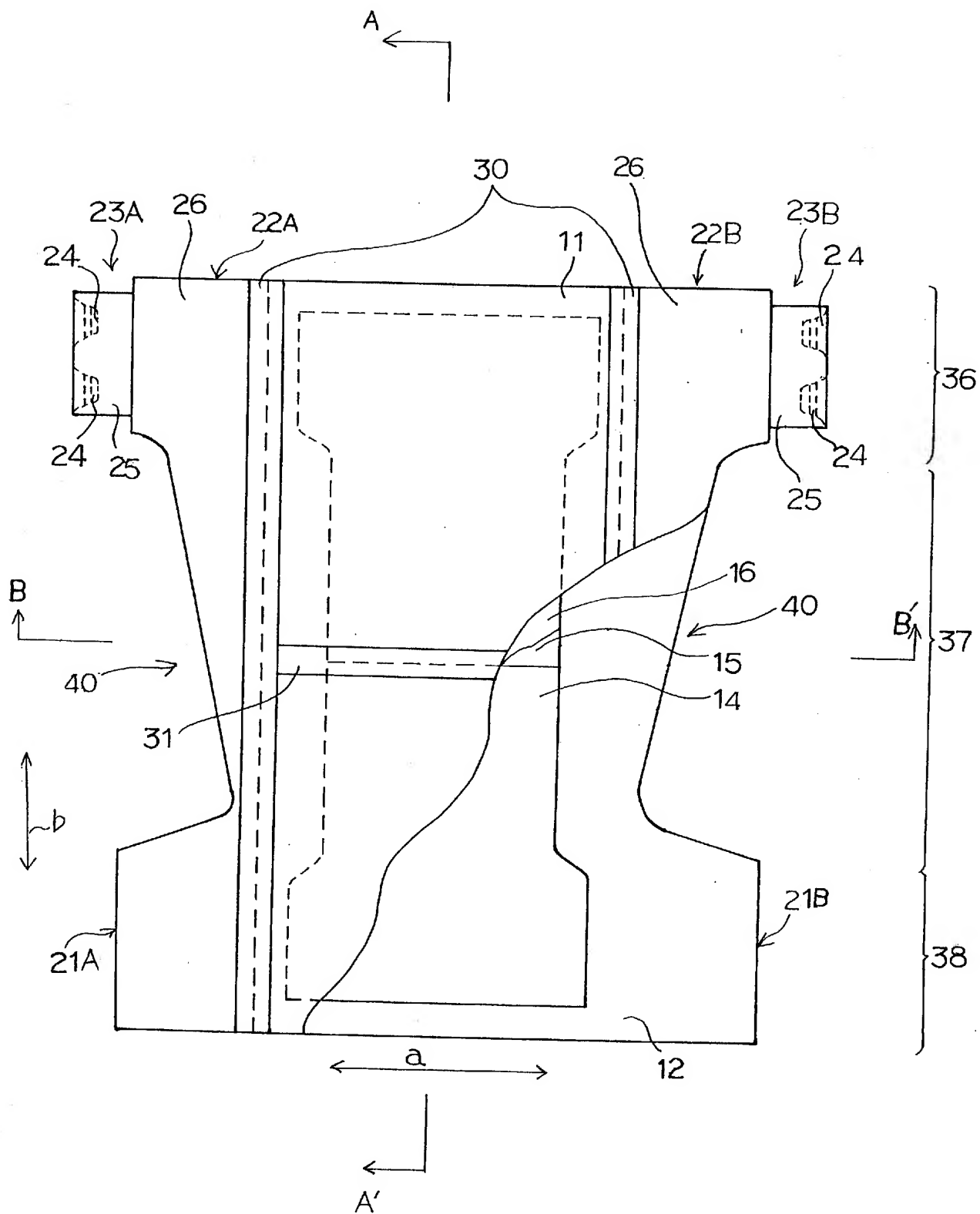


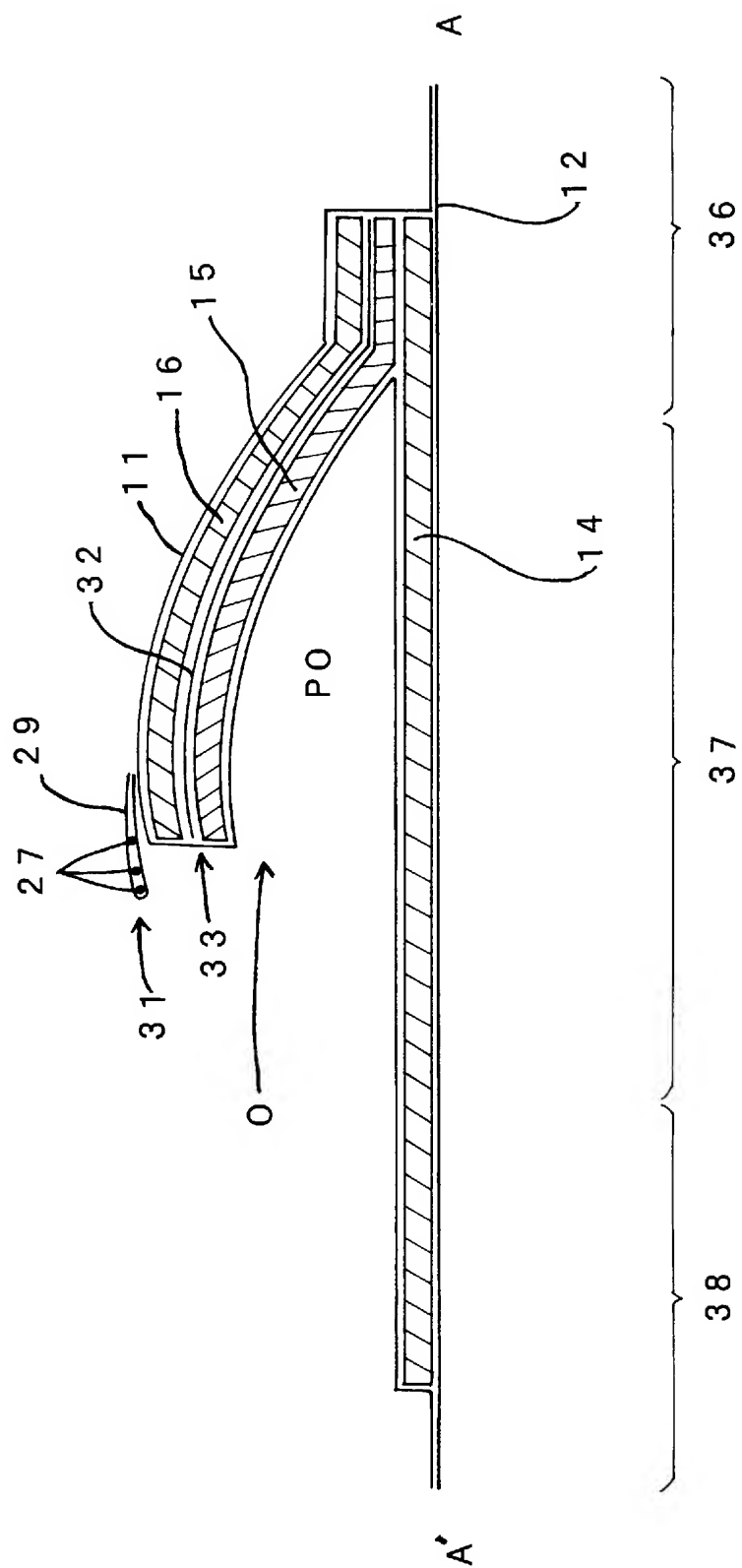


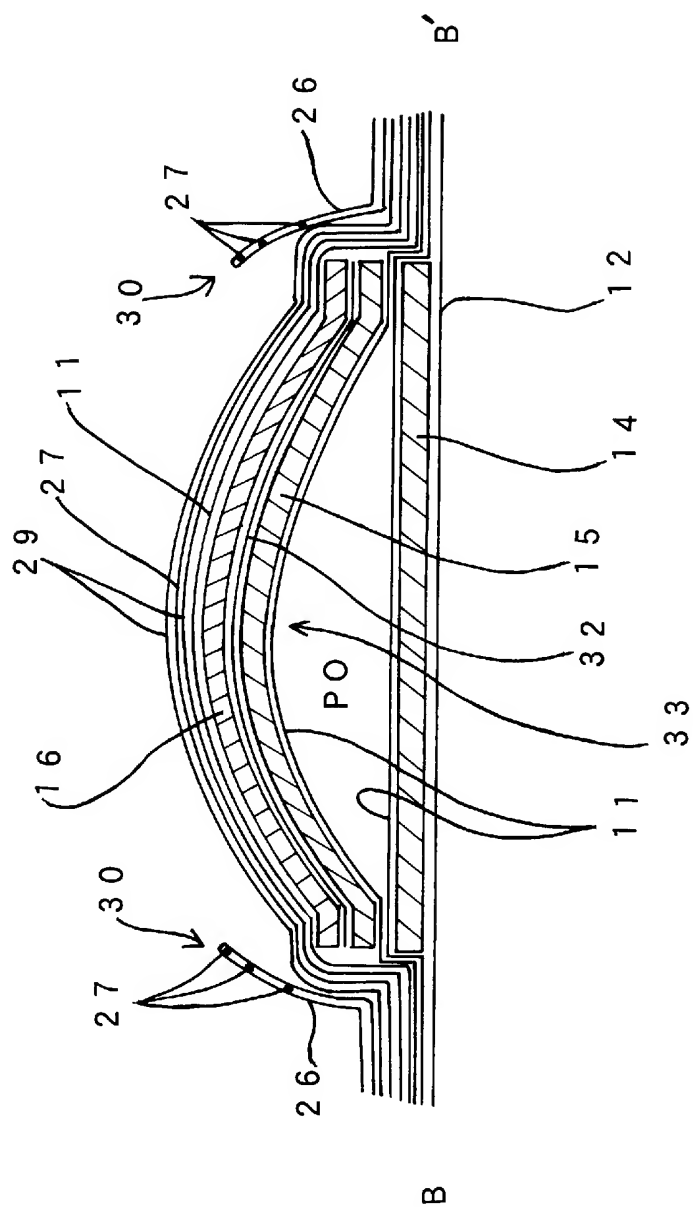
【 図 6 】

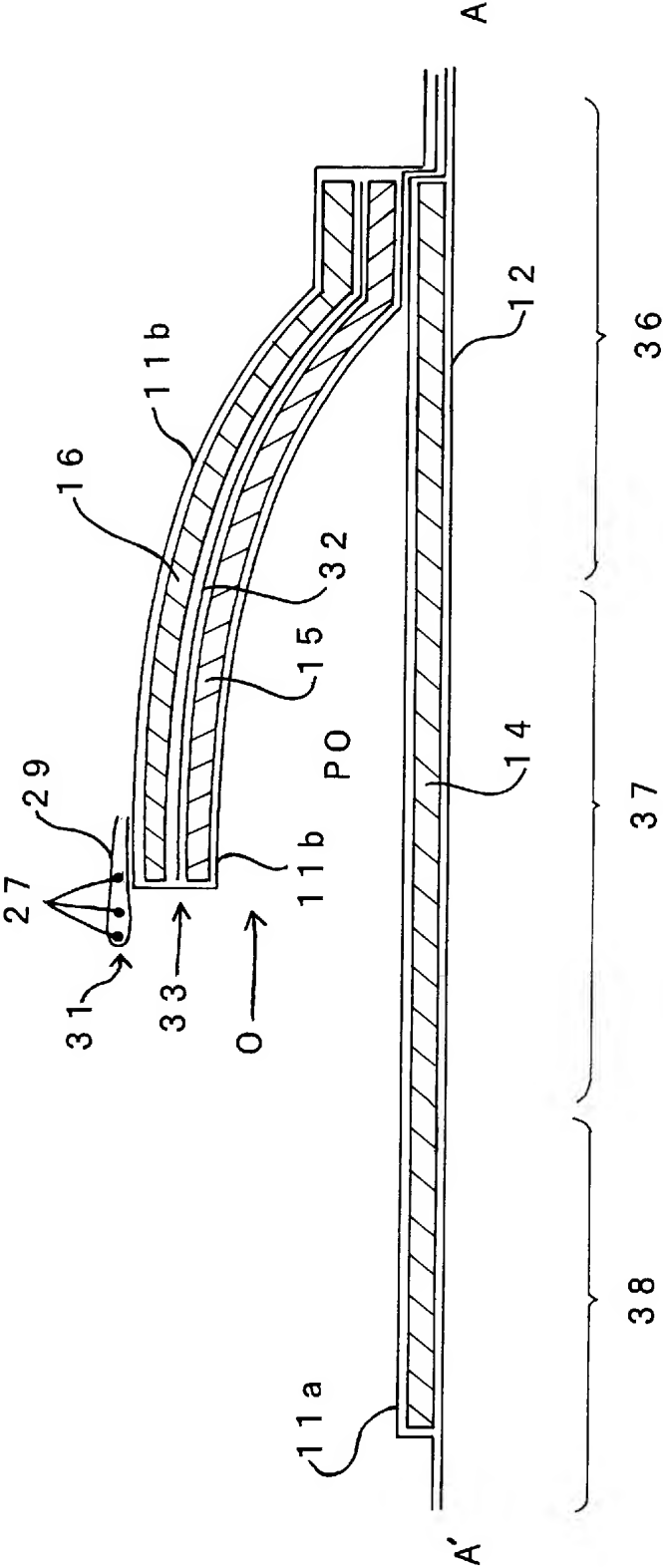


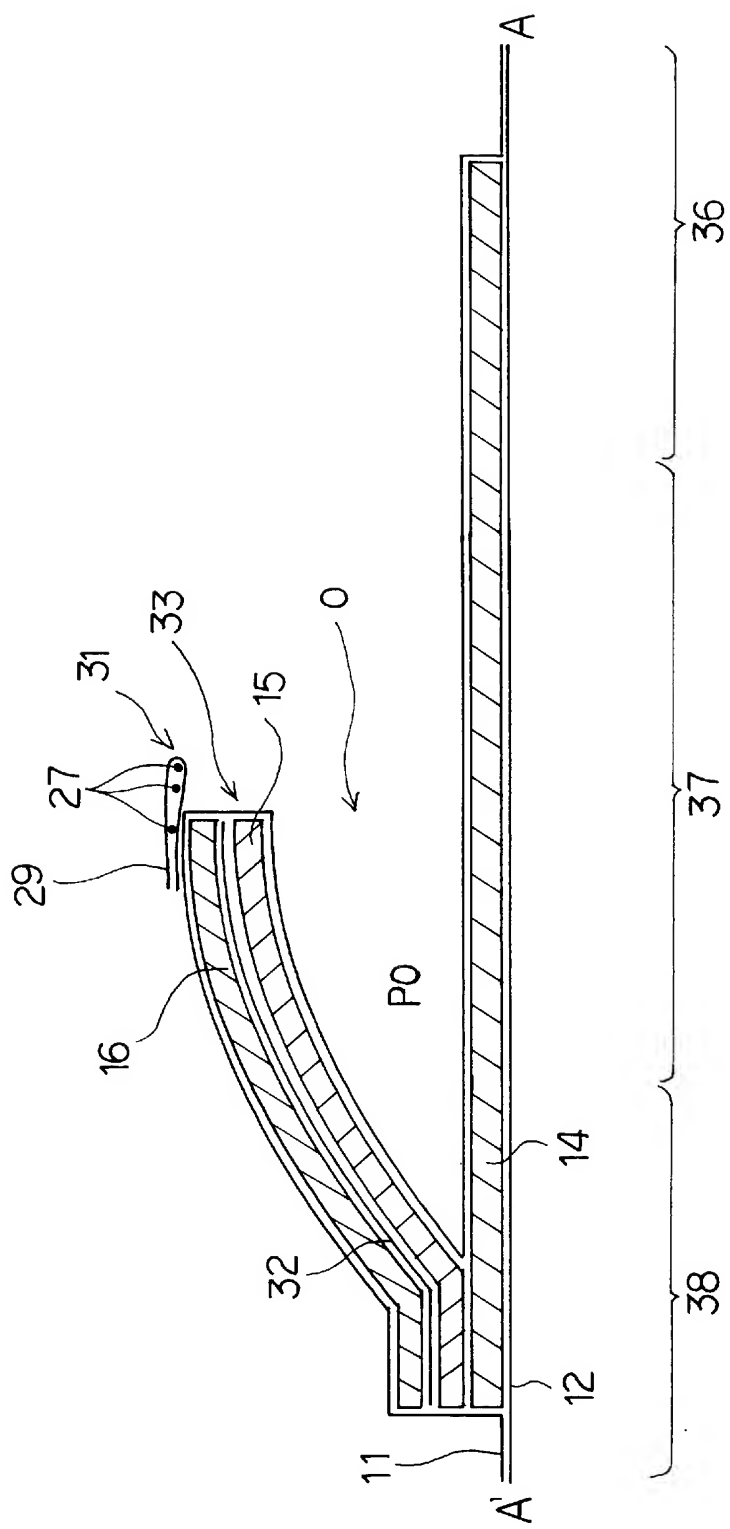


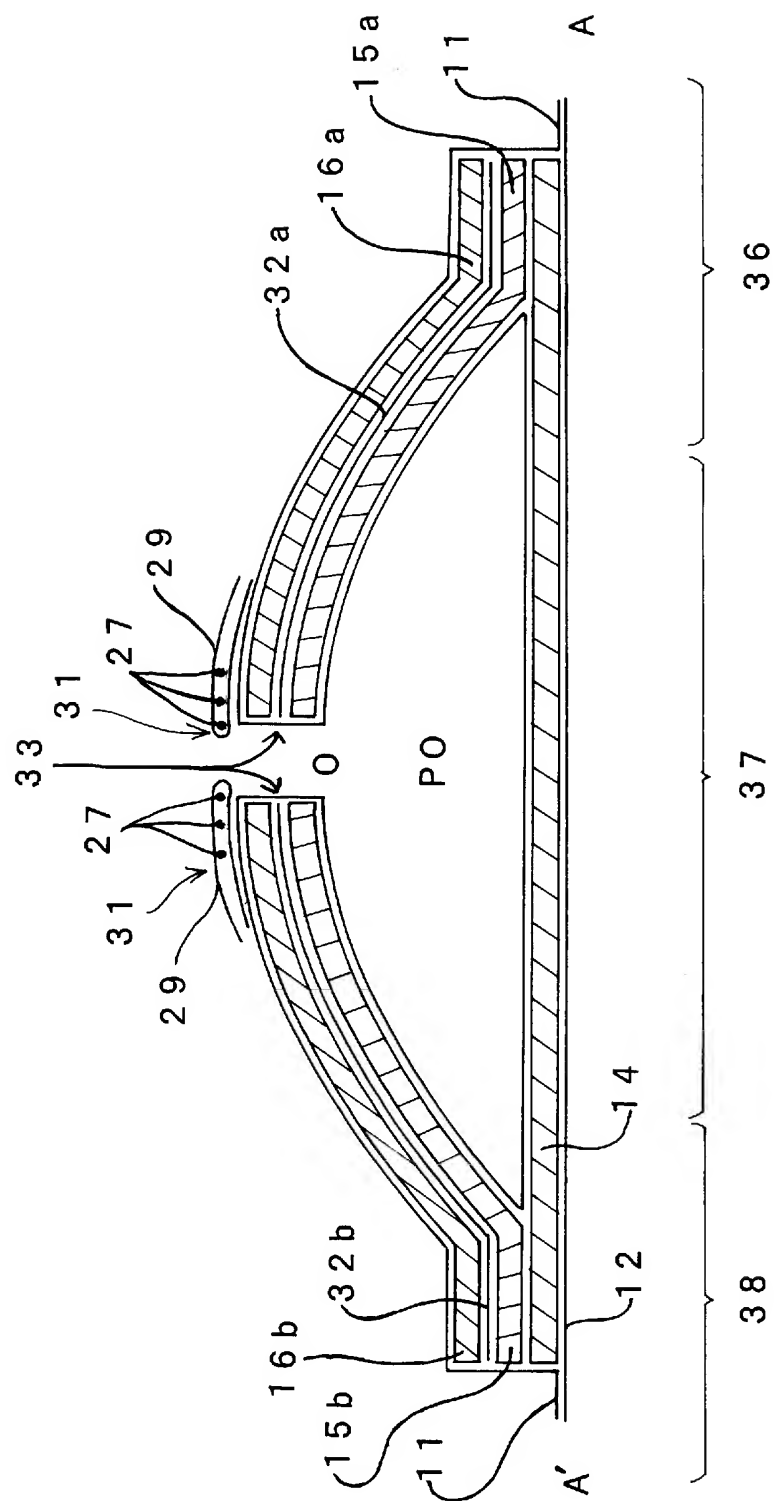


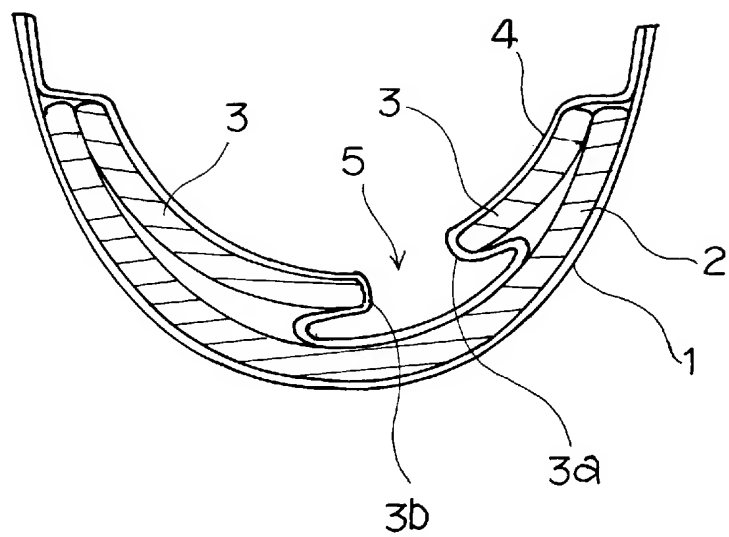












【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 使用者が快適に装着できる展開型紙おむつを提供する。

【解決手段】 液不透過性のバックシート 12 と、第 1 吸収体 14、第 2 吸収体 15、液透過性のトップシート 11 をこの順に備える。第 1 吸収体 14 は、装着したときに使用者の背側 36 から股下 37 を経て腹側 38 にかけて備えられるとともに、第 2 吸収体 15 は、装着したときに使用者の背側 36 から股下 37 にかけて備えられる。第 1 吸収体 14 と第 2 吸収体 15 との間に液体を透過しない防漏シート 32 を備え、股下 37 から背側 36 に向かって第 2 吸収体 15 が第 1 吸収体 14 から離間することによってその第 1 吸収体 14 と第 2 吸収体 15 との間に排泄物を保持するポケット P O が形成される。そして、そのポケット P O にて防漏シート 32 は第 2 吸収体 15 に接するように配設され、トップシート 11 は防漏シート 32 を被うようにポケット P O の形状にならって設ける。

【選択図】 図 2

出願人履歴

3 9 0 0 2 9 1 4 8

19901127

新規登録

5 9 4 2 0 2 2 7 9

愛媛県伊予三島市紙屋町 2 番 6 0 号

大王製紙株式会社

3 9 0 0 2 9 1 4 8

20040422

住所変更

5 9 4 2 0 2 2 7 9

愛媛県四国中央市三島紙屋町 2 番 6 0 号

大王製紙株式会社